

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

- 百日咳抗体 IgA
- 百日咳抗体 IgM

検査要項

検査項目名	百日咳抗体 IgA	百日咳抗体 IgM
項目コード No.	3829	3830
検体量	血清 0.2 mL	
容器/保存方法	容器番号 01 : 汎用容器 (分離剤入り) / 冷蔵	
所要日数	3~5日	
検査方法	ELISA	
基準値	8.5未満 判定基準: 次頁参照	
検査実施料	80点 (「DO12」感染症免疫学的検査「12」)	
判断料	144点 (免疫学的検査判断料)	
外部委託先	株式会社エスアールエル	

受託開始日

- 平成29年8月1日(火)受付日分より

※裏面をご覧ください

- 百日咳抗体 IgA
- 百日咳抗体 IgM

百日咳は、主に百日咳菌の気道感染による急性呼吸器感染症であり、ワクチン接種前や未完了の乳幼児が発症した場合、重症化する傾向があります。2000年以降はワクチン効果が減弱した成人患者の報告数が増加し、乳幼児に対する感染源となっていることから、成人を含めた早期診断・治療開始が重要と考えられています。

百日咳の検査は、培養と百日咳抗体 IgG に加え、2016年11月より遺伝子検査が保険適用となっています。百日咳抗体 IgA と IgM が加わることで、早期診断への検査体制がさらに充実することとなりました。

百日咳抗体 IgA は、百日咳毒素 (PT) および繊維状赤血球凝集素 (FHA) の総 IgA 抗体価を測定し、百日咳抗体 IgM は、百日咳菌に対する IgM 抗体価を測定いたします。IgA 抗体は病日約 21 日、IgM 抗体は病日約 15 日をピークに発現し、IgA 抗体は IgM 抗体よりも持続して検出されることが確認されています。IgA および IgM 抗体はワクチンの影響を受けないため、これまで急性期と回復期のペア血清を必要とした抗体検査において、単一血清での診断率向上が期待されています。

関連する主な疾患

- ・百日咳

関連する主な検査項目

- ・百日咳抗体 (EIA) (PT-IgG, FHA-IgG)
- ・百日咳菌 DNA

判定基準 百日咳抗体 IgA、百日咳抗体 IgM

NTU 値	判定※①
<8.5	陰性 (-)
8.5~11.5	判定保留 (+-) ※②
> 11.5	陽性 (+)

※①検査結果報告形式は NTU 値及び判定記号のみの報告となります。

※② 2～4 週間後に採血した血清による再検査をお勧めいたします。

参考文献

小児呼吸器感染症診療ガイドライン作成委員会：小児呼吸器感染症診療ガイドライン 2017（協和企画）：236～240, 2016.（臨床的意義参考文献）